

令和4年度

学校関係者評価書

評価対象期間 自：令和 4年 4月 1日
至：令和 5年 3月 31日

令和5年9月21日

中央動物専門学校

学校関係者評価委員会

目 次

1. 目的	2
2. 学校関係者評価	2
3. 評価項目	2
4. 組織	2
(1) 学校関係者評価委員会	2
(2) 任期	2
5. 実施	2
6. 評価要領	3
7. 自己評価概要	3
(1) 自己評価項目	3
(2) 自己評価結果と改善点の概要	5
8. 学校関係者評価結果	9
(1) 会議進行	9
(2) 評価結果	9
9. 総括	9
10. 項目別評価結果	12

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を教授できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

3. 評価項目

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

4. 組織

(1)学校関係者評価委員会

委員：大野 公嗣	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 専務理事
阿良田由紀	東田端自治会 会長
飛高健太郎	タロウ動物病院 院長
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ 代表取締役
塚本知加江	中央動物専門学校 保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード 取締役
田中 淳	中央動物専門学校 卒業生 (Pet Salon & Hotel Joli 神楽坂店 店長)

(敬称略・順不同)

(2)任期

委員任期を 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日とする。

5. 実施

令和 5 年 9 月 21 日（木）中央工学校付属日本語学校 5 階教室において、学校関係者評価委員会が開催された。

6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明をしたうえで、学校関係者としての評価を実施した。

なお、会議の進行及び事務については学校が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

7. 自己評価概要

(1)自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価のガイドライン」に準拠し、本校の実情に合わせ必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

ア. 教育理念・目的・育成人材像

- ①理念・目的・育成人材像は定められているか
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか

イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②学則・細則・内規等は整備されているか
- ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか
- ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか

ウ. 教育活動

- ①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑤成績評価の基準は明確になっているか
- ⑥教員資質向上のための研修が行われているか

エ. 教育成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③退学率の低減が図られているか
- ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

オ. 学生支援

- ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

キ. 学生の募集と受け入れ

- ①学生募集活動は、適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか
- ④学納金は妥当なものとなっているか

ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ③財務について会計監査が適正に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

サ. 国際交流(留学生)

- ①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
- ②留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか

③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

(2)自己評価結果と改善点の概要

ア. 教育理念・目的・育成人材像

学生及び保護者へは種々の機会をとらえて教育の理念・目的等の浸透に努め、また日々の接触を通じて教職員はその理解度を押し量るべく努めているが、理解不足で入学する学生が若干存在する。更なる理解度向上を図り、本校HPでの訴求や各種イベント等での説明が必要である。

18歳人口の減少による学生募集を取り巻く環境が厳しさを増してくるなか、社会のニーズに合った学校づくりの継続的な検討は必要である。

本校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などの周知、理解度を向上させるため、これまで同様に、学生へは新入時のオリエンテーションでの指導や授業及び日々のキャンパスライフを通じて機会の増加を図る。

保護者へは学校説明会や保護者懇談会を通じて、企業等へは求人票発送時の資料や合同企業説明会等を通じて、地域社会へは積極的に地元イベントへ参加し、学園祭等学内イベントを通じて、相互理解を図りながら実践的な職業教育の質向上に努める。

更に、学内の情報配信方法や入学前ガイダンス（新入生対象、保護者対象）の実施を検討し、周知徹底、理解度向上を図る。

イ. 学校運営

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備に関して、学内における動物愛護精神の全職員間の統一化、推進に向けた活動をより活発化する必要がある。

地域・近隣等からの苦情（クレーム）の際の是正処置及び予防処置においては、学内で迅速に対応し、情報共有ができる体制を整備し、全体への周知については以前より迅速化されており、是正処置及び予防処置体制の改善に努めているが、完全になくすということとはできていない。

情報システム化による業務の効率化は図られているが、現状では、紙ベースが主流で、クラウド化が遅れている。

前年度に学内で取り扱った校有動物及びモデル犬に関する事例を検証し、動物愛護精神の全職員間の認識、共通理解を図るなど、学内に組織化されている「動物倫理委員会」の活動内容を全職員へ情報提供し、職員の動物に対する倫理感の統一を図っていく。

地域・近隣等からの苦情（クレーム）の際の是正処置及び予防処置においては、学内で都度迅速に対応し、情報共有をしているが、全体への周知及び更なる迅速化徹底化に向けて情報共有の方法を改善する。また、予防処置体制について検討する。

紙ベースでの個人情報の取り扱いについては、今後、PDF化、デバイスによる運用等を含め、クラウド化の実現に向けて検討していく。

ウ. 教育活動

授業評価において、学生からの評価は実施されているが、教員による評価が実施されて

いない。教員相互の授業評価の早期実現で教育活動の質向上が必要である。

教員資質向上のための研修は行われているが、一部の教員のみに留まっており、全職員の意識向上へ啓発が十分でない。また、学生のメンタルケアや若年層が抱える問題対応の研修や情報共有が十分とは言えない。

教員の研修においては、組織的な取り組みをより強化させ、一部強制力を発揮しつつ、教員への積極的な参加を推奨し、全職員の意識向上の啓発と各種スキルアップの機会増加を図る。

学生のメンタルケアや若年層が抱える問題対応においては、令和3年度から導入した臨床心理士によるカウンセリングの現況、対応事例等を教職員へ共有し、スキルの涵養化を図る。

学内に組織された「教育評価委員会」の主導のもと、教員の授業評価の仕組みを構築する。

Ⅱ. 教育成果

資格取得率の向上について、国家資格となった「愛玩動物看護師」の合格率が全国平均に及ばず、対応策が急務である。

退学率の低減について、学生の資質の低下や学習意欲減少等の要因は、教員の努力で対応しきれない部分もあるが、増加傾向にある学生の精神的な悩みからの退学へのフォロー体制の強化も必要である。

卒業後のキャリア形成への効果の把握においては、卒業後に頻繁に来校する卒業生を中心に把握しているが、全卒業生においては未だに把握できていない。卒業生の動向の把握としては、同窓会と連携し、卒業生対象の研修会等を企画しているが、参加数が増えない現状にある。卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校へアプローチできる仕掛け作りが必要である。

資格取得率、特に「愛玩動物看護師」の合格率向上に向けて、指導スケジュールの早期化、学生への意識涵養等の対策を実施する。

退学率の低減については、特に精神的な問題のある学生相談の援助として、カウンセラー（臨床心理士）を令和3年度から導入、2年が経過し、在籍率向上が図られた。更に、担任・担当だけの面談に加えて、特に問題視される学生の対応については職員全体で多角的にアプローチし、学力的な問題、担任以外にも気軽に相談できる学生相談体制づくりを継続する。

卒業後のキャリア形成への効果の掌握については、卒業生の日々の来校者の増加傾向を受けて、収集した卒業生情報を教育活動の改善に反映させる。来校しない卒業生の状況把握の方法については継続して検討していく。

また、同窓会組織との更なる連携強化を図り、研修会においては卒業生が参加しやすい日程、内容の調査を実施し、卒業生の動向把握や在校生の就職へと繋がるような企画を展開する。

卒業生のアンケート調査を実施し、今後の教育活動の改善へ反映させる。

オ. 学生支援

各担任を中心とした個々の学生との相談体制に加え、昨今増加傾向にある精神的カウンセリングに対してカウンセラー（臨床心理士）の導入をしたが、月2回と制限があり、現代学生の心理的特徴や傾向を理解したうえでの継続的な相談・支援が必要である。

保護者との連携においては、現状の連絡方法に加え、効率化、迅速化を図るためメールを含む各種ツール活用の検討も必要。

学生からの相談については、カウンセラー（臨床心理士）の常駐が望ましいが、現状ではコスト的に月2回の相談体制であるため、クラス担当教員を含めた教職員全員が学生の相談窓口になり、学生の不安な気持ちの解消に努めるようにする。

保護者との連携は、時代に合ったツール及びその運用方法を検討していく。

カ. 教育環境

防災への対応として、学生・教職員のみならず、校内で飼育している多数の校有動物及び美容実習用モデル犬への対策も考慮する必要がある。あらゆる不測の事態を想定した設備の完備が理想であるが、現状は必要最低限の整備となっている。特に夏季の災害時に校有動物の退避先確保が難しい等、電力が途絶えた時の対応が完全とは言えない。

施設内の避難場所や避難ルートは、教室等の用途変更になった場合はアップデートする必要があるが、現状は変更、その情報を共有されていない。

防災への対策として、校有動物の対応において、停電時の非常照明やフードの備蓄、飲料水や清掃用の水源確保はできているが、夏季に発生する災害を想定し空調設備が稼動しない場合の飼育動物の退避方法を考慮すると、自家発電装置の導入が理想だが、コスト的に厳しく、現存の施設内における退避場所、ルート等の方法を再検討し、緊急時の更なる万全な対応を期する。

教室等学内施設の用途変更の際は、避難ルート等の情報を更新し、職員全体への情報共有を徹底する。

キ. 学生の募集と受け入れ

入学案内書やホームページ、SNS等で教育成果を伝えた学生募集活動が実施されているが、SNSを活用した訴求について更なる実証・検証が必要である。

入学選考においては公平な基準で実施したが、特に面接科目での更なる基準の厳格化が求められ、改善の必要性がある。

SNSの活用による情報発信の機会増加については、令和4年度に開設したInstagramと従前からのTwitterを、主とした情報発信のツールとして活用する。

入学選考の面接科目において、面接担当者による偏りを避けるため基準をより細分化する。

18歳人口減少という厳しい中でも、WEBの活用で広く本校の校名露出の機会増加を図り、動物分野希望者を掘り出し、志願者の割合を増加させ、入学定員の必達を目標とし

ていく。

ク. 財務

本校における中長期的な財務基盤及び収支の均衡においては、令和4年度は改善されたが、継続して中・長期計画により安定的な黒字化に向けた取り組みは必要である。

予算計画においては、学生納付金収入の増加により確実に収支の均衡が取れる盤石な運営組織への改善も含め、継続して学校運営の見直しが必要である。

財政基盤の維持・安定・向上を図るために、一定数以上の入学者を確保し続け、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して改善を図り、学生納付金収入を確保する。

中期事業計画の再精査と、学校・学科・教職員等運営再編計画の立案、学生募集体制（広報体制）の更なる強化を図る。

ケ. 法令等の遵守

個人情報の保護については、ファイアーウォールの導入やルーター設置等、ウィルスに対する適切な対策がとられているが、悪意を持った外部からのハッキングに対する体制は完全とは言えない部分がある。

ウィルスやハッキング対策においては、最新の情報収集と対策の調査を継続して行い、事例が起きた時には、迅速な対応ができるようにする。

コ. 社会貢献・地域貢献

現状の学生のボランティア活動においては、対象となる学科が限定的であり、全学的な参加体制が望ましい。全学生を対象とした各種ボランティア募集の依頼に際し、速やかに告知はしているが、ボランティアは自発的意思に基づくものであり、学校としては学生へ告知するに留まっている部分もある。

地域に対する公開講座として、学校近隣の飼い主対象の「犬のしつけ方教室」を実施しているが、各種公開講座・教育訓練の受託については、現状の人員では余力がなく、積極的に開発・実施ができていない。

学生のボランティア活動の奨励・支援として、新たに、地域猫活動、ボランティアトリマー等の情報提示や参加支援の検討を行う。また、単位認定や参加費用支援など学校補助の観点からの検討を図る。自発的にボランティア活動を行っている学生は一定数おり、その参加状況や活動の様子を本校HPやSNS等で発信し、学生の意識付け強化を図る。

地域に対する公開講座・教育訓練の受託については、生涯学習の観点からも対象者を広げて、地域のニーズ調査、実施可能な講座の企画・検討を推進していく。

サ. 国際交流(留学生)

留学生の受け入れについては、近年留学生の出願は数件あるものの、日本人の入学希望者の増加と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、日本への外国人の入国が極めて難しい状況になり、在籍する留学生が減少した。令和3年度末に卒業し、4年度は留学生の在籍がゼロになった。

募集に関しては、令和5年度以降のコロナ禍対応の日本への入国状況や、都内の日本語

学校の在籍状況等を踏まえながら、今後は数年間を想定したうえで、地道な募集活動を展開し、従前の留学生数確保を心がける。

8. 学校関係者評価結果

(1) 会議進行

座長・坂本敏校長から、開会挨拶があり、「職業実践専門課程」の認定状況及び学事報告等（概要）について、配布資料に基づき説明をした。

ア. 主査の選任

座長の坂本敏校長が、学校関係者評価委員会主査について説明をした後、大野公嗣委員が各委員の推薦により主査に選任された。

イ. 自己評価結果の報告と質疑応答

自己評価委員会佐藤洋子委員長（教務部長）より、令和4年度業務における自己評価結果について、各評価項目について説明をし、評価結果を示した。

大野公嗣主査を中心に、自己評価項目にそって質疑応答が行われた。質疑応答の後、評価結果及び意見を「評価シート」に記載した。

(2) 評価結果(評価の観点4項目に対する評価)

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、学校関係者委員評価委員の評価を得た。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和4年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当な評価結果となっており、自己評価の内容はほぼ適切と判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

ほぼ適切と判断する。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか

令和4年度学校運営計画を確認。基本的運営方針や運営重点項目および運営指針、具体的方策については適切と判断する。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

全体的には概ね適切と判断する。

9. 総括

令和4年度における学校業務について、自己評価結果の報告を受け、学校関係者として評価を行った。全般的に妥当な自己評価結果であると判断した。学校関係者評価の観点4項目と照らし合わせても適切な結果であると総括する。

なお、学校関係者評価委員による各評価項目に対する意見の主なものは次の通り。

- ①美容関連科の講義を行っているが、本校には非常に元気な学生が多い。今後も個々の能力を伸ばしてあげたいという思いである。

- ②自己評価は適切と判断する。動物看護師資格が国家資格化したことで、真面目に授業を受けている学生が増えたという印象が強い。また、世の中全体に言えることでは、若者が外に出ていくという活力が減ってきていると感じており、実社会や現場との繋がりを持つ機会が少ないため、現実的なところが見据えられていないと感じられる。評価項目の中のボランティア活動などで、学生を積極的に外に出すような機会が与えられると刺激になり、日頃の勉強向上にも繋がるであろうと思われる。
⇒新型コロナウイルスによる行動制限も解除されており、学生には積極的にボランティア活動の紹介をしていきたい。
- ③現在は学生を受け入れる立場であるが、過去には教育の現場に携わっていた者として、愛玩動物看護師試験において数名不合格者が出たことについては残念ではあるが、専門学校卒業者は大卒者と比較しても十分に実践で働ける実力を持っており、より積極性が高いという印象を受ける。ペーパーのみでは測れない素養、数値があると感じており、実践的な教育を生かされていた本校の方針の顕れであると感じている。学生には自分の夢を叶える仕事に就けるよう頑張ってもらいたいと思う。資格取得率の向上については十分な評価であり、他の評価についても適切であると判断する。
- ④評価は適切と判断する。他校と比較し本校の学生の質は高いと感じている。今後も挨拶をはじめとしたマナー指導を継続していただきたい。
- ⑤店舗では猫関連の問い合わせが増えているため、キャットグルーミングの強化にぜひ取り組んでいただきたい。
- ⑥保護者の立場として、評価は適切と判断する。本校の教員の指導においては、学生を社会に出すサポートがしっかりされていると感じられる。愛玩動物看護師を目指し、日々頑張っている子供達を見て、動物の命を預かることを学ぶというのは大変なことだとつくづく感じている。今後ともよろしくお願ひします。
⇒委員としてだけでなく、保護者としてのご意見があれば、いつでもお寄せいただきたくお願ひいたします。
- ⑦地域の愛犬家、愛猫家として、評価は適切であると思われる。職場体験では中学生の受け入れ、特別養護老人ホームには犬を連れて動物介在活動を行うなど、協力に感謝している。近隣からのクレームについては、現代の若者を預かる以上、また犬も飼育しているため、致し方無いことである。問題はクレームに対して迅速に対処できているかということだが、本校はクレーム対応体制は整っているため、学校運営におけるコンプライアンス体制の整備の評価が3になってはいるが4でも良いと思われた。
- ⑧令和4年度の学校評価は、すべて適切であると判断する。学校を取り巻く環境は凄まじく変化している。特に少子化の影響で、専門学校入学者も減少してきているが、今後どのような方向で学校運営をされていくのか、先を見据えたものを発信できれば、学校の魅力も広がっていくと思われる。
- ⑨スクールに比べ技術力のレベル低下が危惧される。専門学校は実習に割く時間が限られ

ている。教育活動の中で教員の資質向上の評価が3であったが、学生を牽引する教員の資質向上をする努力をしていかなければならないと感じる。

⇒学校はカリキュラムと資格取得への対応等で、実習時間数を割かなければならないというジレンマもある。また教員の資質向上についても、頂いたご意見を真摯に受け止め、努めていきたい。

(1) 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(2) 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	学則・細則・内規等は整備されているか	4	3	2	1
2-3	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

「2-3」については、現代の若者達を預かる学校である以上クレームがある程度あるのは仕方ないことである。問題はクレームに対し、迅速に対応できるかどうかであり、その点、町会からのクレームに最速で対応していただいた事もあり、評価は4でも良いと考えている。

(3) 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
3-1	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-2	カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
3-5	成績評価の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上のための研修が行われているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

「3-3」教育の質を担保する為、教員の資質向上は常に行われるべきと考えるが、人が人を評価する事の難しさは伴うと思われる。新しい評価制度の導入でより正しく評価し、それが教員の質向上、教育の向上になる事になればとても望ましいと思われる。

お忙しいとは思いますが、教員相互の授業評価はぜひ実行していただきたい。

(4) 教育成果

4-1	就職率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
4-3	退学率の低減が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

「4-2」個人的な所感としましては、専門学校出身の人材が他大学を出たスタッフよりも実践的な実技や知識を持っていた為、ペーパーのみでは測れない職業人としての資質は専門学校教育によって養われていると感じました。不合格者が出てしまったのは残念ですが、学校の教育として取り組んできた事は生かされていると感じています。

「4-3」退学率の低減について、学費面、メンタル面に加えて、保護者へのアプローチ（保護者との協力）も考えてはどうか。

(5) 学生支援

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(6) 教育環境

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

「6-3」防災に対する体制について、ぜひ地元町会との協力体制を作っていきたい。

(7) 学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(8) 財務

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

「10-1」毎年、北区立田端中学校の職場体験の生徒を受け入れていただいで感謝している。

(11) 国際交流（留学生）

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
11-1	留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】
